


一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年11月12日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第6号	質問議員	11番	堀口恵一	
件名	地域創成拠点としての山北駅周辺整備の推進を				
要 旨					
<p>「山北町第2期人口ビジョン・総合戦略」が本年3月に町から出ている。コロナ禍の下で、事業がなかなか進まないところであるが、コロナ禍の下でも展開できる事、コロナ禍後の展開を考える事、コロナ禍がずっと続いてでもできる方策を考えることなどが必要なところである。</p> <p>山北駅周辺と言うことで考えると、山北町全体の顔であり、外から来た人はそこを見て町全体をイメージするものだと思う。今まで小さな拠点づくりとしてカフェ、コンビニ事業などへの支援、また、ふるさと交流センターの整備もされてきたところである。駅を中心に考えれば、健康福祉センター、生涯学習センター、役場庁舎、こども園、D52のある鉄道公園、銀行などがまとまったエリアに点在しているわけである。今後は体育館跡地に新たな多目的体育施設も予定されていて、一つの回遊エリアとしてみる事ができる。この一つの回遊エリアを地域創成拠点として認識してはと 思い質問する。</p> <p>1. 山北駅に来た人が、ここが山北の地域創成拠点だと思えるような演出が必要だと考える。山北町全体には、魅力的な自然、魅力的な事業、魅力的なライフスタイルは点在しているが、駅及び駅周辺にその魅力を連想させる又は連携させる機能が不十分なように思う。そこで駅周辺回遊エリアを地域創成拠点として認識し、町内広域に点在する町の魅力を連想させる又は連携させる機能（例えば、駅周辺にある空き店舗を展示スペースとして活用し、それぞれを町内観光のブースとするなど）を増やしてはと考えるがどうか。</p>					

2. D52 延伸事業計画はあるものの 25mではインパクトが無いのではないかと思える。クラウドファンディングなどで、山北駅舎側線路敷地を JR より買い取り、駅舎から山北町商工会館付近までを新しい鉄道公園にすれば 180m位にはなる。この考えはどうか。

3. 一つの回遊エリアとしてまとめるには「歩きたくなるような歩道」が重要と考えられるが以下のような整備を進めてはどうか。

- ① 駅周辺エリアの電線地中化（電柱は残すタイプ）
- ② 駅周辺の歩道の有効幅を狭くしているフラワーボックスの撤去
- ③ 駅周辺の歩道路面を耐久性があり綺麗なブロックに改修（小山町など参考）
- ④ 駅周辺の回遊歩道のバリアフリー化
- ⑤ 跨線橋の階段白華（エフロッセンス）の除去など

4. 地域創成拠点として「来たくなるような駅」を以下のように進めてはどうか。

- ① 駅横にある回らない縦型風力発電街灯の必要性の確認
- ② 駅横に電気自動車充電設備の設置
- ③ 駅構内の草刈りの徹底を JR に要望
- ④ 駅自体のバリアフリー化、コンパクト化の JR への継続要望

以上